

天

四三 受信〇〇二四三 譯始〇四〇〇〇 譯了〇四五五 電〇一三〇〇 作 概



機密第〇二二二一七番電

H L B 戦團統報 (四月二日)

一〇九三〇ヨリ一七四五迄 P I 三八延八機來襲宿舍地帯銃爆撃

三〇九三〇ヨリ一七四五迄 P I 四七延六並ニ小型機數機上空通過

三、戦果ナシ被害醫務室及病舎四棟炎上。

通一七一二 出一Bヲホ八 (三七八二五) 至FGB放日野原 (榛澤)

昭和廿年四月四日

四三 受信〇〇二二三 譯了二二〇〇 電〇一六三七 作 概  
緊急



三二根戰團概報着信艦所  
一〇方面艦隊P・二警備隊・二二、二三各根

機密第〇二二三一八番電

三二KB 戰團概報第八八號 (四月二日)  
一、ザンボアンガ方面三三警備隊所報通り  
ニ、ダバオ方面〇八四七、〇九〇七B、一二四、一機進行方向北西 一〇三  
八一、〇五五B、一二四、一機南下 一一三〇PBM一機 一五二五P  
一三八、二機北上  
三、カルトヤン〇七二〇敵魚雷艇二隻海岸ニ對シ砲撃  
通一七〇三 呂一Bラ一八 (七八五五K) 三二逆 石川 (佐藤)

四、ボングオ方面附近ヲ「カラトデー」「サンガニ」ノ西岸敵艦船約二一  
隻出現。〇八五〇砲撃中高速艇六隻

五、ホルガニ方面「一二三〇」「二四〇」機航空基地及防空隊居住地區ニ

投弾滑走路異状ナシ。敵ニ與ヘタル損害攻撃ニ依リ「二四〇」機  
撃破。

（東遼註 誤字多ク遲延ス）

昭和廿年四月四日

四 三 受信〇三三六 譯了〇六三二 電〇一四三九 作機〇  
譯始〇四一五

緊 急

三三根 戰艦 概報 通信 所

三 三 根



機密第〇二二二三三二番電 二二分ノ一

第三十三 特別根據地隊戰艦概報第二號 (四月二日) セブ島

一、艦船狀況

一五〇〇「ボホル」水道南口ヨリLOPE一三〇四〇日六舟艇四  
LOPE一五計四二一六一五LOPE人員約一五〇トラツク軍需品ノ  
揚陸ヲ開始セリ 一八〇〇敵艦船(計八六)岸壁輸送船三セブ島  
電力發電所前岸壁LOPE五セブ島港内〇日六LOPE一小型上陸用  
舟艇一セブ島南口ヨリタリサノ沖開驅逐艦三縣港艇一七LOPE九  
小型上陸用舟艇五LOPE三五大型驅逐艦一。

通信課註 本電二分ノ二未着

通 一七三三 〇二Bラ十八(三七八九)五〇

3339



人

四三 受信 〇八五〇 譯了 一〇三〇

電〇〇一六七八  
電〇〇一六七八  
電〇〇一六七八

作 概

昭和廿年四月四日

緊急



第三十三根戰團概報着信處所

機密第〇二二三三二番電 四分ノ二三四

三十三根戰團概報第二號

陸上方面本日目視シ得ル敵兵力 戰車八 無蓋戰車四 野砲十門

迫撃砲二 兵力約二五〇 戰車七 無蓋戰車二 歩兵約一二〇海軍陣

地前端ニ侵入セルモ約五〇名ノ敵兵ハ陣地ヲ構築中ナリ今夜夜襲撃退

ノ豫定

通一八四三、一八五三

一八二五

呂二Bヲ十八(一一三)カ至(五)G B

三浦 田中(小野田) 1

三、〇八四〇ヨリ一八〇〇迄 F 四 U 一 二九 B 一 二五 九 B 一 二四

四、P 一 六一 一 計四三來襲 F 四 U B 一 二五 B 一 二四、陣地

帶ヲ銃爆撃

四、戰果 被害(二十六日ヨリ三十一日迄其ノ後調査セルモノ)

(イ) 戰果

戰車攔坐(小破ヲ含ム)六、迫撃砲ノ命中彈ヲ與ヘシモノノ輕戰車

爆碎セルモノノトラック大型三 乘用車一 兵舎二 幕舎五 迫

撃砲六 物資集積所六 鹵獲機銃七 自動小銃七 右彈藥約五〇〇

鐵兜等四〇 手榴彈二 集音機二 人員殺傷四二〇以上 擊墜 B 一

二五 一 擊破 B 一 二四 一 B 一 二五 一

(ロ) 被害 戰死三八(内准士官以上二) 行衛不明二三 戰傷四二 使用

不能機銃一

(ハ) 陸軍側戰果人員殺傷七二〇 戰車攔坐三重機關銃鹵獲一 幕舎全燒

四 被害戰死九三 負傷五〇

(電信課註 本電四分ノ一既配布)

四五 受信 一三三五 譯丁 一五〇〇 電〇二八五三 作 概

作戰特別緊急

	局長					
	課長					
A		L				
B		K				
E		I				
J						
G						
F						

南西方面艦隊P・第三南遣艦隊P・第三根P

(通報表示) 北東方面部隊戦況報告着信艦所

機密第〇三〇四三〇番電

一日夕刻ヨリ隣軍陣地ノ間隙ヨリ侵入セシモ午前(約二〇〇)ハ暫ク撃退セルモ夕刻ニ至リ敵ハ相當大ナル兵力(推定約數倍)ニテ東面及南面上ニ亘リ攻撃シ來リ遂ニ陣地ノ一角ニ迫リ着キ我之ニ對シ猛攻中

通三三一三 於一三(一ニ八一〇)C(卅一通)小野寺(小野田)

昭和十一年四月六日

二、本日爆撃ナキモ各種砲ニ依ル砲撃益々盛ニシテ美シキ椰子密林中  
ノ陣地モ全周遮蔽ナキ坊主山ト化セリ

三、四月二日ノ戦果左ノ通り

大破炎上自動貨車二 牽引車二 鹵獲機銃二 カルベン銃三 同

彈藥及手榴彈多數 人員殺傷約四〇〇 (内白人種ト確認セルモノ

八及「アルバイ」市内ハイキヨニ密集セル敵ニ對シ噴進砲ノ邀撃

ニ依ルモノヲ含ム)

四、敵ハ濃綠色ノ服及「リュツクサツク」ヲ裝備シ白人ヲ指揮官トス

ル黒人部隊ニシテ夜戰ヲモ訓練シ居ルモノノ如シ。

「東通註」暫クトテルハ漸クノ誤リト認ム)



人

三 受信 二二〇五 了 二二三七 留 〇一九〇四 作概 〇

昭和廿年四月四日

作戰緊急

第三十三根



第二タバ才航空基地

第三南遣艦隊P・第一航空艦隊P・一タバ才空基地

機密第〇三〇九二〇番

一 敵艦船〇九〇〇 (計九九) セブ岸壁横附中大型商船二同小型九LCI

セブ港内艦 潜艇 四 LCI三セブ港外ヨリタリサイ間小型商船六LCI

一〇其ノ他大小艦船六四

二 天候晴 雲量二

通二二七三 於十(四七四二、五EC)五FGB(ヤン波(小野田)

昭和廿四年四月四日

四三 受信一三四二 開始一三〇八 終了一三三〇 電〇一六九七 膝通

緊急

NSB特情発信機所

三一通五分速報

機密第〇三〇九二七番電

パキオ方面敵機來襲状況（三月二十七日乃至四月二日）

一出現敵機總數四一五内通過機一九一機

二出現機種（機數）

P1三八（八七）P1四七（四三）P1五一（四六）SB01

一・（九）B1二四（一四）B1二五（八）B1二六（一〇）

A1二〇（八）O1四七（六）

三、攻撃地點 パキオ周圍陸軍陣地（殊ニサント・トーマス山ノ北

側及ニ南側）ニ對スル攻撃激化セリ

四、其ノ他三月三十日以降午後天候不良ノ爲來襲機無減セリ。

通一九八〇 於十五（一二八一）電 星野（飯田）

36 kg

四六 作戰緊急

受信一九二五 譯了二一四五 電〇三七五二 作機

昭和廿年四月七日



三三根

(通報表示) 第三南遣艦隊P・タバオ第一航空基地

機密第〇三一七三〇番電

二十九日米比混成軍(兵力不詳)ハバンタンニ上陸シ戰車約五〇輛ハバ  
コロド地區ニ侵入セリ海軍部隊ハニツキ總員士氣旺盛ナリ電信機一  
組直擊彈ニ依リ使用不能一組修理可能當分陸軍隊由ニテ連絡ス。

通四三四一 於十三(一五七一〇七)三二通 伊藤(森) 日

3319

手

四七 受領 〇〇五三 譯了 〇六〇〇 電 〇三九四六

昭和廿年四月七日 作 概 〇

急

三三 備 隊



聯合機隊口・南西方面機隊口・三二根  
大津第一部隊。軍務局長。兵備局長。人事局  
館山砲術學校。積須賀砲術學校。

機隊 〇三一七四〇番電 五分ノ一

調査ノ上敵ハ海空兩權ヲ確據シ敵ノ補給ハ間斷ナク強行ニ行ハレテ  
三三 警戦團機隊 三九 號ハ四月三日ハザンボアソガ方面ノ戦闘ガ三週  
間ニシテ一段落ヲ告グルニ至リシハ尙ニ慚愧ニ堪ヘズ然レドモ萬難ヲ  
克服シ強敵ナル創意ヲ續ケテ最後ノ勝利ヲ獲得セズバ已マズ當分力闘  
奮進内強神魂ヲ以テ突撃セムノミニ付致方ナク時日ヲ與ヘラレシコト  
ヲ望ム見タリシ原因ニ關シ不肖一個ノ所見ヲ披瀝セバ左ノ通

陸海軍共人ナレズ素質及身体劣レルコト。

電信課註 本電五分ノ二以下未着

通四四一八 呂一五五五(三二)通 學生(小幡)

33 K9

四七

受領開始 〇〇二二〇三

了〇三四五

電〇三九四七

作概〇

緊急

三三警備隊



聯合艦隊口、南西方面艦隊口、三二艦

大澤參一部、軍務局、人事局、横濱賀砲術學校、前山砲術學校

機密 〇〇三一七四〇 巻電

五分ノ五

又擲筒ナルニ有効ナリ將來現在ヨリモ大選トシ且増配チ切望ス  
八當方面ノ陸戰ニハ至近距離ノ射撃ニ殆ト終始スルヲ以テ歩兵銃  
可也等ノ騎兵銃又ハ敵ノ「カルピン」銃ニ似タル小銃ノ使用  
ヲ適當トス。

(一) 電信線註 本電五分ノ一既配布。其ノ他未着ニ

通四四五 呂一〇ラ十八 (七八五五KG) 三二

鈴木 (増田)

四月七日



(イ) 視認ヲ得タル敵戦車四野砲二迫撃砲六敵兵各種五〇〇

(ロ) 午前戦車一ノミ陸軍側陣地前方ニ出現午後戦車三飛行場方面ニ  
來リ遠距離ヨリ盲斬込並ニ砲撃ノ爲基地行動平日ニ比シ極メテ  
不得要項ナリ

(ハ) 敵ハ観測機ヲ使用シツツ驅逐艦一ヨリ艦砲射撃ヲモ加ヘ陣地後  
方ニ至リ我ヲ砲撃我ハ主トシテ迫撃砲ヲ以テ海軍側陣地前端ニ  
上陸ヲ開始中ノ敵散兵約三〇〇ニ對シ猛撃ヲ加ヘ制壓セリ

(ニ) 連日ノ敵ノ攻撃ノ爲陣地前端潰滅シ價値ナキニ至レルヲ以テ一  
部陣地ノ修理ヲ行ヘリ

三〇六二〇ヨリ一八〇〇迄B二五、七B二四、一F四U一、十來  
變障地帯銃爆撃〇九一五機測機四(州廳)前道路ニ發着シ「ダク  
ラス」二(マクタン島)ニ發着シ飛來セリ

四 戦果

(イ) 三十一日迄ノ戦果ニ左テ追加ス

(二)

昭和廿年四月五日

軍艦 B 二五、二 擊破 R 四 U 一、二機 B 二五、三機 二十七日

○二〇〇火柱一ヲ認ム機雷ニヨル戦果ト推定

(ロ) ○〇〇八ヨリ ○一四五迄敵方ニ於テ火災箇所三ヲ認ム斬込隊ノ

戦果ト推定其ノ他調査中。

一 電信課註 本電三分ノ三未着



33 kg

四 設信一五〇〇 丁一八〇〇 電〇三七一九 作概〇  
昭和廿年四月七日



三三根職機着信艦所

ダバオ第一、第二各空基地

機密第〇三二三五五番電三分ノ三

五被奪(一)以下十五字重複受脱ニシテ不詳

戦車ノ近接セザリシハ十二種七高角砲ノ射撃ニ要縮セルモノト認ム

(ロ)敵ノ綜合兵力約一〇〇〇ト推定

(ハ)敵ハ鉛弾ヲ使用シアリ

(ニ)斬込隊逐次慣熟成績大イニ揚リツツアリ昨夜來約二十組ヲ

以テ市街及郊外各所ニ對スル斬込ヲ實施毎夜各所ニ火災爆

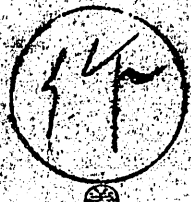
發連發シツツアリ

(一)電信課註 本電三分ノ二ニ既配布  
(一)東亞註 不明箇所再送セルモ來ラズ

通二六四五 口一五七八(一五七一)〇三二番

四 四 受信二〇〇四 譯了二一五〇 電〇二三九五 作 概  
昭和廿年四月五日

緊 急 一 三 航 空 艦 隊 戸



東通・一三航空艦隊戦況概報着信艦所

機密第〇四一一二七番電

通報 航空本部 航空技術廠 横空 威

戦況概報

六一三空九六式陸攻三機ヲ以テMDニ這出一日〇一四〇「スリガ  
オ」海峡(ベトロプリンセサ)ニ七〇度二〇〇〇米ノニ三式二

號航空機雷一型四個ヲ敷設セリ

三「スリガオ」見張所ヨリノ報告ニ依レバ一日〇三〇頃敵船團北

上通過ノ際敷設附近ニ於テ爆發音並ニ火焰一ヲ認ム

奏效セルモノト認ム

三被害ナシ。 呂一B々七(六二三五)ノ十通。 明凡(改)田

下

四 五 受信 一〇五二 譯了 一二〇〇 電 〇二七四二 作 機 〇

作戰特別緊急

三 五 警 備 隊

⑤ 三南遣艦隊尸・南西方面艦隊尸・三一 根▷



⑥ レガスビ―航空基地・三三 根▷

機密第〇四一一三〇番電

敵ノ砲力ハ野山砲一二門迫撃砲二〇高角砲八門ニシテ泊撃砲ヲ主用  
トシ我ニ晝夜間斷ナク砲戰ス戰車ハ未ダ當地區内ニ侵入セズ  
據ハ肉攻班潜伏ノ爲ナリ。

通三三四四 於一三八二八一〇〇〇 三一 通 清水(小 幡)

五分遣

昭和廿年四月六日

四 五 受信 〇〇一五六 譯了 〇四一〇 電 〇〇二五八八 作 概

緊急

三一通五分遣隊

南東方面部隊戰況概報着信艦所

菲島部隊 (HIB)

機密第 〇四一二〇三番電 四分ノ一、三

ルソン島戰況第十一號 (四月四日)

マ「バギオ」正面

(一) 敵ハ自動車道ヲ「ガリアノ」迄推進其ノ第一線ハ「ガリアノ」東方一五料附近ニテ其ノ兵力ハ戰車一二臺砲一四迫撃砲一二門ヲ有スル約六〇〇 尙少數ノ敵ハ「アシン」西方二料迄浸透シアリテ 逐次兵力物資ヲ増強シアリ

(二) 「ナギリアン」道「ブルゴス」ニ於テ敵三〇〇ト交戰中 尙一部ハ「バラライ」迄侵入 目下交戰中

通二七三三 三〇〇一 呂一「ブラ」十八 (一二八一〇)

高二放

菅原 (山中)

三「ベンゲット」道ノ敵ハ我ガ數次ノ斬込ニモ不拘執拗ニ近迫約一  
五〇ノ敵「キヤンプ」三附近ニアリ

三「マニラ」東方據點「サンインドロ」<sup>?</sup>「モンタルバン」<sup>?</sup>「サンマテ」<sup>?</sup>  
附近ニ一部出撃之ヲ確保中「ノルサガライ」<sup>?</sup>「ノバリチエス」<sup>?</sup>及「  
マリキナ」ニ對シ斬込實施中相當ノ戦果ヲ擧ゲウツアリ 敵ハ「ア  
ンピット」川へ「マリキナ」ヨリ九軒へ「バイタン」<sup>?</sup>山ノ線ヨ  
リ北方へ逐次進入ヲ企圖シアルモ其ノ都度擊退シツツアリ。

〔電信課註 本電四分ノ二、四未着〕

（四）

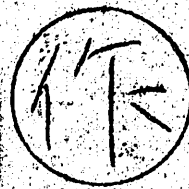
人

四五 受信〇九四〇〇 譯了二二〇〇 電〇二八一七  
譯始一〇四〇〇

昭和廿年四月六日  
作 概

緊 急

三 通信隊五分遣隊



南西方面部隊戰鬪概報着信艦所  
菲 島 部 隊

機密第〇四二二〇二番電四分ノ二、四

ニ「パレテ」サラクサク」正面當方面ノ敵二五師三二師及不明一箇  
師計三個師團ト判斷セラル

(イ)「パレテ」方面ノ敵ハ逐次兵力ヲ增加本道正面ニ一撃ヲ加ヘ浸透  
攻撃ヲ企圖シアリテ「カラングラン」北方ノ敵(不明約一個師)  
ハ(「パレテ」)正面ヘ轉進中「ミヌリ」峠西側並ビニ「キヤピンタ  
ラン」南方ノ我直前ニ陣地構築中(目下ノ狀況察知)

(ロ)「サラクサク」方面峠南北陣地ヲ完全ニ奪回セルモ敵ハ「パレテ

通三一一三・三一三四

呂一Bヲ十八

九二七二七、五KC

高二級

(1)

「方面ヨリ兵力ヲ増強執拗ナル攻鑿企圖シアリ（三二師）」

（四分ノ三未着以下四分ノ四）

四 湖南地區「ロスバニヨス」ニ於テ砲ヲ有スル敵ト激戰中又一部ノ敵

ハ「タナウアクコロ」ニ侵入セリ此ノ方面ノ敵兵力ハ戰車一〇散輛砲

一〇數門ヲ有スル約半ヶ師ナリ南方ニ於ケル敵進出線ハ「クエンカ

」ト「サンホセ」ト「リバダ」ニシテ其ノ兵力約一ヶ師ナリ「クエ

ンカ」

五 「アラバット」島北端「ゲラルド」岬ニ敵輸送機一日三乃至四機發

着ス。

（電信課註 本電四分ハ二三既配布）

35 kg

人

四七 受信開始 〇〇四二五 丁〇一三五 電〇三八三九 作訓

作戦特別緊急

第三五警備隊

三南道陸隊尸・南西方面陸隊尸・三一特根

機密第〇四一七二五番電

「レカスピ」戦訓所見其ノ二

云(イ) 敵ノ追撃砲ノ初弾ハ發煙彈ニシテ觀側容易ニ射出ス射彈ハ概ネ

其ノ附近ニ集中三〇米ニ對峙中ニテモ正確有效ナル射撃ヲナス

(ロ) 敵ハ夜戦ニナレ絶對話シ聲ヲ出サズ隱密ニ接近シ來ル

(ハ) 噴進彈ヲ山上ヨリ谷間ニ集中セル敵ニ流レ込ム如ク發射スルハ

極メテ有益ナリ此ノ時彈ケン部ガ椰子ノ木等ニ觸レバ大編彈ト

ナリ危險ナルコトアリ。

通口口三六 於一三(三七八二五)C(五)E(放) 富崎(様) 澤(

昭和廿年四月七日



七

35 19

作戰特別緊急

四九

文信 〇〇〇四  
詳如 〇〇三六

詳丁 〇三三〇

電 〇四九四八

作

昭和廿年四月九日

傍

①

三兩道艦隊丁・南西方面艦隊丁・三一機丁

②

三三機丁・レガスビー空母隊

(通報表示)

北東方面部隊戦闘報告信處所

機密第〇四二二〇五番電

一、四日敵ハ依然我陣地ノ飛行場ニ面スル方向ヨリ猛砲撃ニ附隨シテ追撃  
 攻シ來リ同方面ノ重火器陣地ハ全部全部集中砲火ニ依リ破壊セラレ人  
 員ノ損傷又少カラズ連絡不良ニシテ戦闘指導極メテ困難ナリ

二、敵ハ本日〇九三〇頃輸送機四機ヲ以テ飛行場ニ到着機一ニ箇ヲ投下又  
 一二三〇頃小型練習機一機離着陸セリ

三、夕刻ヨリ再ビ夜高三門ヲ以テ飛行場及海岸方面敵砲陣地及幕舎等ニ對  
 シ砲撃開始敵ハ間モナク之ニ對シ反撃シ來リ目下(二一四五)猛烈ナ  
 ル砲撃戦續行中ナリ。

通五五九五 天一〇ラ十二(四七)五七(高道 高橋(木下)

作

人

四 五

受信開始 〇〇二三五  
〇四〇〇〇

了 〇五〇〇 電 〇二五三七

作 概

昭和廿年四月五日



● 三二特根戰團概報着信處所  
● 二二、二三、二六各特根

機密第〇四二二〇六番電

三二五 戰團概報第八九號 (四月四日)

一、「ダバオ」方面 〇九〇五 P-三八 一機南下 〇九四〇 P-三八

機北上 一〇五〇 P-一五五 B-二四 二四機「ブナワン」機橋及「ダ

バオ」「カナラサン」間道路附近ニ投彈被害戰死陸軍兵一名

三、「マナイ」方面 〇三〇〇 P-「マナイ」見張所ニ敵隊三〇名來襲二時

間ニ亘リ交戦之ヲ遂退戰果遺棄死體五被害戰死四名 (内通信兵一名

) 重傷一名 小銃一破損

三、「ホロ」方面 (四月二日) 〇九〇五 P-一六一五 敵 P-四 V 及 B-一二

通三〇一一 呂一 P-ラ十八 (七八五五 KC) 卅二通 片山 (松山) (1)

五 延七一機來襲水口市街及海軍陣地銃爆墜 被害海軍部隊本部全壊  
市民九名死亡

四 「サンボアング」及「ボンガオ」方面三三警及「ボンガオ」派遣隊  
トノ通信社経情況不明。

ll

作戦緊急

四 一二 受信 〇〇三五〇八 譯始 〇三五一 電 〇六四八九 作戦

昭和廿年四月拾貳日

南西方面部隊情報着信艦所

機密第〇五〇八〇八番電 三分ノ一

發 G K F 參謀長

一、リングエン五日(四日)〇八〇〇艦船狀況 A 錨地 輸送船五 (視

認不能) 大型上陸用舟艇二 (視認不能) B 錨地 T二〇(一一

一) 油槽船三 (〇) 大型上陸用舟艇七 (二) 小型舟艇二八 (一一

一) C 錨地 輸送艇二 (〇) D 錨地 小型舟艇七 (六) E 輸送船

一 (一一) 油槽船〇 (一) 工作船〇 (一)。

【電信陳註】 本電三分ノ二三就配布

通七三六四 呂一三ヲ十八(四七)五(高麗 長尾(歌田)

35 kg

\*

作

作戰特別緊急

四七 受信一四三三五 譯了二五四四 電〇四二三一 作訓  
開始一四五〇

三五 警備隊

③

三南邊艦隊尸。南西方面艦隊尸。三一根

【通報表示 非島方面部隊戰鬥標報着信艦所】

機密第〇五一二五〇番電

陸戰兵器特ニ小銃ガ不統一テ種類多ク彈藥彼此ノ轉用不能ノコト  
但シ海軍兵ハ陸軍兵ニ比シ軍紀嚴正ニシテ勇敢ナリ海軍傳統ノ精

銳主該教育法ヲ其ノ儘ニ猛訓練ヲナスヲ要ス

(H) 敵ノ砲撃ハ一般ニ一分間平均一五發一平方米ニ發程度ナリ  
但シタコ雷ニ入ル木製蓋ヲ持テオレバ損害ハ案外少シ。

(電信課註 本電二分ノ一未着)

通四七八九 於一四(九一四五ko)高放

伊藤(蓋田)

四月八日

33 Bg

人



率  
急

四  
七  
受信開始〇五四五  
〇六三八

終了〇九一五  
電〇四一〇四  
作

三  
三  
根  
ト

三  
三  
根  
戰  
鬪  
報  
着  
信  
處  
所

機密第〇五一四一五番電  
二分ノ二

(甲) 神ヶケ山南方 (阿蘇山地區北方)

(乙) 那須地區 (日ノ丸山ノ北方)

三 海軍八日ノ丸山地區ノミヲ受持テ與行ハ海岸ヨリ約八〇〇〇米ナリ  
四 砲ノ現狀

(イ) 海軍十二經高角砲三門迫撃砲十二門

(ロ) 陸軍野砲三門 (照準器ナシ) 迫撃砲四其ノ備ナシ。

一 電信線註 本電二分ノ一未着

通四五三三  
呂二Bヲ十八 (四五七二、五三〇) 高二放 渡邊 (杉本)

人

昭和十年四月六日

四五 受信一六五。譯了又五度。〇八〇

譯始一六二八

作概。航奉。

作戰特別緊急

三二通

三一通五分遣隊

着

一三航空艦隊

傍

機密。五二五三五番電

發 三十二特根司令官

宛 第三南遣艦隊參謀長

通報 南西方面艦隊參謀長 第十三航空艦隊參謀長

當隊 〇ホシガホシ派遣隊。四月二日敵機、熾烈ナル砲

爆撃ヲ受テ其後通信杜絶状況不明ニ付飛行機ヲ以テ

情況偵知方取計ニ度尚南菲空軍特突動機ナシ。

通 三三四八口一〇(二五七一。KC) (林) (春日)

三二通放

318

緊急

四六 受信〇〇四五八 譯了〇九三〇 電〇三四七二 作 概

昭和廿年四月七日

非島方面部隊戰鬪概報着信艦所

アバリ連綴基地・パヨンボン通信基地

機密第〇五一六三三番電 四分ノ一

ルソン匪情第二號 (四月五日)

呂宋北部ニ於ケル匪狀ルソン匪情第一號 (南西方面艦隊機密第〇七

二一〇二番電)ノ外概ネ左ノ通

一「バギオ」周邊

(イ)「ヌヘル」ト「ギオ」市内各方面ヨリ多數ノ間諜潜入シテ目下

嚴ニ搜索中

(ロ)「トリニダツ」西北方山中ニハ迫撃砲重機關銃拳銃手榴彈及

小銃ヲ有スル有力匪團アリ附近住民ハ全部匪化シ強力陣地ヲ構

通三七三〇 呂一ブラー八(七五六五EC)五PGB放 長谷川(小澤)



築シテリ彈藥豐富ニシテ一部（約三五〇）ハ南下一アムサル外  
「附近及「カロソト」北方山中ノ我ガ軍ト交戦中此ノ方面ニ  
對シ三月初旬ノミニテ二〇〇個以上落下傘投下セリ目下掃蕩中  
ナリ。

「電信課註、本電四分ノ二、三、四未着」

四六 受信開始 〇九二〇六 譯了七、〇六〇〇 電 〇三九四二 作 續

昭和廿年四月七日



● 菲島部隊戰隊秘報着信處所

● アバリ運搬基地第五分遣隊

機密第 〇五一六三三番電 四分ノ二

「トリニケヒト」東北約一〇軒ニ約三〇〇ノ敵匪アリ連夜附近迄

進出時々我ガ小部隊ヲ攻撃

「カバマンガ」附近及「トリニケヒト」附近「モルフィー」少佐

「ダンワ」大尉ノ指揮スル裝備優秀ナル匪團ハ六〇〇以上アリテ

堅固ナル陣地ヲ構築シアリ 敵機ノ物量投下盛ニシテ本日迄三〇

〇噸以上 五〇一六〇個ニ達ス「カバマンガ」中央 地ニハ

飛行場ヲ整備中ナルモノノ如シ

一 電通註 本電誤字極メテ多シ

一 電信課註 本電四分ノ三、四既配布

通三六七三 呂一〇ラ十八(七五六五) 五ト〇〇放(日野原(雨谷))

四六 受信〇八一〇 譯了 一四三〇 電 〇〇三九九二九八 作 概  
緊急 譯始 〇八五〇



非島部隊戰鬪概報着信處所  
アバリ連綴基地・バヨボン通信基地

機密符 〇五一六三三番電 四分ノ三四

(ロ)「ポントツノ」 「バギオ」ヨリ三〇一四〇軒附近「タンワ」系匪

約二〇〇 動シアリ目下討伐中

(ハ)「ダテカン」 「トブライ」附近「モリインタス」少佐匪(三〇〇)以

上「ポントツノ」二六一三〇軒ニ沿フ山中ニ陣地ヲ構築上流交

通ヲ妨害目下討伐中

三「セルヴァンデス」方面

(イ)「セルヴァンデス」附近「ロピンスキー」少佐「アラノロイ」大

通三七六七 呂一Bヲ十八(九一四五、〇KC)高二放

昭和廿年四月七日

尉

等ノ指揮スル七一八〇〇ノ匪軍アリ久米大隊討伐中

(ロ)「マンツツン」方面「ロピンスキー」系匪約五〇〇名アリ

四「バヨソボン」方面「バカバツク」西方「マンリキヌ」匪空中補給

ヲ受ケ有力化シツツアリ此方面特ニ謀報行爲積極的ナリ

「カガヤン」方面モ最近補給ヲ受ケ次第ニ積極化シツツアリ

五「カガヤン」河谷及ルソン島北西岸匪狀悪化シ物資ノカイ集殆不

能ナリ。

電信課註

本電四分ノ一

既配布

四

分ノ二未着

(2)

昭和廿年四月六日

四 六五 受信〇一三四〇 譯了〇二〇五 電〇三一〇〇 作 概

緊 急

作

三二根 戰鬥機報告信艦所  
二二、二三、二六各根

機密第〇五二一三〇番電

三二警備隊 戰鬥機報第九〇號(四月五日)

一タバオ方面〇八五一PI三八 一機東方ヨリ侵入偵察後東方ニ去ル

一〇三七BI二四 一機北上通過 一〇〇I一一四〇BI二四 二六

機北東ヨリ侵入「ラサン」方面爆撃ス 結果被害目下調査中

三トツイ方面(第二二警備隊)へ敵匪約六〇名來襲交戦三時間ニシテ

退ス 敵ノ遺棄死体二害ガ方戦死一

三三三警備隊ホ口派遣隊ボンガオ派遣隊通信杜絶情況不明

適三五八〇 呂一Bラ一八(七八五五KC)三二通 遠藤(福田)

昭和廿年四月六日

四六 受信開始 〇〇一〇五二 譯了 〇四一〇 電 〇三〇九七 作 概

緊急

ダバオ第一航空基地



第五基地航空部隊戦闘概報着信艦所

機密第 〇五二二〇二番電

H三AB 戦闘概報 (四月五日)

一〇八五〇一〇九五〇 小型機三機上空旋回 B1二四 一機東上 一〇三〇  
〇一 一三〇 B1二四 約三〇機來襲 ラナン方面爆撃 西方ニ去ル 戦果  
被害ナシ

二 實動機ナシ。

三三六二二 呂二Bケ七 (七五六五 KC) 五FGB 竹中 (福田)

33 Bf

昭和廿年四月七日

四六

受信一九一四〇

譯了二三五〇

電自〇〇三九二一九

作概

緊急

三三根

根

三三根戰鬪概報着信艦所

夕バ才第一、夕バ才第二各航空基地

機密第〇五二二三五一番電 四分ノ一、二、三

第三十三特別根據地隊戰鬪概報第五號

セブ島

一、五點敵艦船計四二岸壁ニ横附中商船大型一、三港内艦艇九西

方同二九

二陸上方面

自視シ得タル敵兵力戰車二臺野砲七門迫撃砲一門敵步兵約五

〇名

通四四二五〇

四四二五〇

呂一八ヲ十八(一五七一〇)

三十二通 藤野(川崎)

(H)

(ロ) 朝來小雨ノ爲敵ノ活動低調ナリ早朝十二糶砲ヲ以テ棧橋地區  
 及昨日戰車約二〇輛集結シアリシ地點ヲ砲撃火災及黑煙ヲ生  
 ゼシメ相當ノ損害ヲ與ヘタリ敵兵多數逸走スルヲ認ム敵ハ之  
 ニ對シ終日驅逐艦及野砲ノ砲撃ヲ陣地一帯ニ亘リ加ヘタリ午  
 後ニ至リ戰車二海軍側陣地前端ニ侵入歩兵約五〇ト共ニ前進  
 ヲ企テタルモ主トシテ迫撃砲ノ猛射ヲ加ヘ戰車一ヲ攔坐セシ  
 ヲ撃退セリ

### 三、陸軍陣地方面

(イ) 小富士地區隊ニ侵入セル敵約五乃至六〇〇ニ對シ四日一六〇  
 〇及五日一〇〇〇逆襲ヲ加ヘ〇二〇〇撃退セリ  
 (ロ) 阿蘇山地區隊(海軍陣地右ニ隣接)前面ニ侵入セル敵約一〇  
 〇ニ對シ四日掃蕩戰ヲ行ヒ撃退セルモ再ビ約一〇〇名侵入シ  
 アリ

四〇八〇〇ヨリ一八〇〇迄 F 四 U I 一 P I 六一 二 B I 三四 二



機B-I二五及觀測機各一飛來F四U-I一八主トシテ「ムチア  
ン」方面ヲ銃爆撃セリ

五 戦果 四月一日ヨリ四日迄綜合戦果飛行機撃破中型二小型一計  
三小型輸送船撃破炎上一人員殺傷六八〇以上迫撃砲小被八機  
銃爆碎二自動小銃爆碎二自動弔銃爆碎三幕舎家屋爆破炎上一  
〇物資集積場爆碎四箇所以上自動小銃彈鹵獲一三九七發  
六 被害 四月一日ヨリ四日迄ノ綜合被害戦死一〇六（准士官以上  
五名ヲ含ム）負傷二〇機銃小銃破損各一。

（電信課註、本電四分ノ四未着）

昭和廿年四月七日